

# 意識調査の分析

## 1 小学校

### 授業に関する集計

	問題		出題内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)					A層-D層	
	大	中		全県	A層	B層	C層	D層		
学校の授業に関すること	1		好きな授業：国語	70.4	77.6	67.1	56.5	55.7	21.9	
			好きな授業：社会	63.2	69.5	59.7	52.4	59.0	10.5	
			好きな授業：算数	80.3	87.7	78.1	63.2	48.4	39.3	
			好きな授業：理科	85.0	88.9	82.7	79.6	80.3	8.6	
			好きな授業：音楽	79.7	82.7	78.7	73.8	61.5	21.2	
			好きな授業：図画工作	86.2	85.1	87.5	85.5	82.0	3.1	
			好きな授業：家庭	92.4	93.9	92.4	88.1	78.7	15.2	
			好きな授業：体育	89.3	89.4	89.7	88.1	79.5	9.9	
			好きな授業：総合的な学習の時間	83.0	87.1	82.4	71.8	57.4	29.7	
			好きな授業：道徳	74.6	77.0	73.9	68.5	63.9	13.1	
		好きな授業：学級活動	86.0	89.2	85.8	76.9	57.4	31.8		
		2		わかる授業：国語	91.2	97.0	89.9	75.6	66.4	30.6
			わかる授業：社会	84.4	91.1	82.0	69.9	61.5	29.6	
			わかる授業：算数	88.8	95.9	86.9	70.8	59.8	36.1	
			わかる授業：理科	91.8	95.6	90.8	82.5	77.9	17.7	
			わかる授業：音楽	88.9	92.0	87.9	81.2	74.6	17.4	
			わかる授業：図画工作	94.1	95.2	94.3	90.1	82.0	13.2	
			わかる授業：家庭	92.4	94.9	91.9	85.5	80.3	14.6	
			わかる授業：体育	95.8	97.3	95.7	91.4	81.1	16.2	
			わかる授業：総合的な学習の時間	89.4	94.6	88.1	76.3	65.6	29.0	
			わかる授業：道徳	89.5	93.1	88.3	81.6	72.1	21.0	
		わかる授業：学級活動	92.6	96.3	92.2	81.8	66.4	29.9		
		3		わかりやすい授業：一人教師	94.3	97.4	93.6	86.5	76.2	21.2
			わかりやすい授業：複数教師	90.6	93.8	89.5	83.2	77.0	16.8	
			わかりやすい授業：少人数	90.3	93.8	89.9	80.3	69.7	24.1	
			わかりやすい授業：コンピュータ利用	88.2	91.8	87.3	79.2	72.1	19.7	
			わかりやすい授業：ゲストティーチャー	78.1	83.1	75.7	69.4	63.9	19.2	

\* 各問いの全県は肯定的な回答をした児童生徒の割合を表わし、各問いのA層～D層は、全教科の最高到達度と最低到達度を均等に4段階のポイントに分け、上位から順にA層～D層とした各問いの肯定的な回答をした児童生徒の割合を表わしている。

\* A層～D層のポイントが大きいくほど、学力と関連がある。

### 授業に関する分析

児童の94.3%は「先生が一人で学級のみなを教える授業」をわかりやすいと考えている

わかりやすい授業として一人の教師が学級全体を教える形態をあげている児童が最も多く、複数教師の授業や少人数の授業に比べ約4ポイント高い。また、A層とD層の差は、少人数の授業が24.1ポイントと高く、成績上位ほど肯定的回答の割合が高くなり、成績下位ほど肯定的回答の割合が低くなっている。

教師一人で教えるよさを生かす授業はもちろん、少人数の授業においても下位の児童がわかりやすいと意識する授業の工夫が重要である。

#### 学習に関する集計

	問題		出題内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)					A層-D層
	大	中		全県	A層	B層	C層	D層	
学習に関すること	4		わからないとき：自力解決	82.7	87.7	81.7	69.5	57.4	30.3
			わからないとき：友達に聞く	47.8	45.1	49.6	50.9	52.5	-7.4
			わからないとき：家族に聞く	86.6	88.4	86.2	82.1	74.6	13.8
			わからないとき：教師に聞く	39.1	38.5	39.1	41.5	44.3	-5.8
			わからないとき：塾・家庭教師に聞く	14.5	12.9	14.0	21.7	30.3	-17.4
			わからないとき：放置	15.4	9.4	17.0	30.2	44.3	-34.9
	5		家庭学習のようす：予習	63.0	65.3	62.9	54.8	57.4	7.9
			家庭学習のようす：復習	83.7	90.2	82.0	67.3	58.2	32.0
			家庭学習のようす：宿題	95.0	97.7	95.0	86.1	73.8	23.9
			家庭学習のようす：進んで学習	77.9	82.7	76.2	68.1	54.1	28.6
			家庭学習のようす：興味のあること	78.1	81.6	77.2	69.8	58.2	23.4
	6		家庭学習：平日の学習時間	19.2	22.4	17.5	14.6	13.9	8.5
			家庭学習：土日の学習時間	24.8	29.0	22.4	19.1	18.0	11.0
	7		塾・家庭教師：週の日数	5.4	4.1	5.8	8.4	6.6	-2.5
			塾・家庭教師：平日の時間	9.0	11.4	7.3	7.1	4.9	6.5
			塾・家庭教師：土日の時間	3.4	3.7	2.9	4.8	5.7	-2.0

\* 各問いの全県は肯定的な回答をした児童生徒の割合を表わし、各問いのA層～D層は、全教科の最高到達度と最低到達度を均等に4段階のポイントに分け、上位から順にA層～D層とした各問いの肯定的な回答をした児童生徒の割合を表わしている。

\* A層～D層のポイントが大きいくほど、学力と関連がある。

#### 学習に関する分析

##### 児童はわからないことを家族に聞いている

わからないことの解決方法として「家族に聞く」が86.6%と最も多く、次に「自分一人でやってみる」の82.7%が多い。A層とD層の差は、「家族に聞く」が13.8ポイントで「自分一人でやってみる」の30.3ポイントと比べて低い。学力との関連を考えると、まず、自力で解決させ、その上で、家族、教師へ相談する姿勢を育成することが重要である。また、「そのままにしておく」がA層に少なくD層に多いことから、解決の意欲や手立てのきっかけのつかめない児童への配慮が重要である。

##### 児童の95.0%は「家では宿題を中心に学習」している

家庭学習のようすとして「出された宿題をする」が95.0%と最も多く、次に「じゅぎょうで習ったことを復習する」が83.7%で多い。A層とD層の差は、「出された宿題をする」が23.9ポイントで「じゅぎょうで習ったことを復習する」の32.0ポイント比べて低い。学力との関連を考えると、「出された宿題をする」自宅学習から、さらに復習を中心とした自宅学習の習慣を育成することが重要である。

##### 平日の家庭学習の時間は約8割の児童が1時間30分以下

平日の家庭学習の時間を2時間以上と答えた児童の割合は19.2%であった。平日の家庭学習の時間が2時間に満たない児童が約8割となる。この約8割の児童の中には、「ほとんどない」「30分ぐらい」「1時間ぐらい」を含んでいることから考えると、十分な家庭学習の時間が確保されているとは言えない。ま

た，A層とD層の差が8.5ポイントあることから，学力との関連も見られる。宿題の出し方，復習のさせ方を含め，家庭学習時間の確保と習慣化が課題である。

#### 生活に関する集計

	問題		出題内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)					A層-D層
	大	中		全県	A層	B層	C層	D層	
生活に関すること	8		読書：月の冊数	65.9	72.9	64.1	47.7	37.7	35.2
	9		学校以外の過ごし方：外で遊ぶ	89.3	88.1	90.7	89.4	82.0	6.1
			学校以外の過ごし方：テレビ・漫画	79.9	81.6	79.1	77.3	70.5	11.1
			学校以外の過ごし方：テレビゲーム等	58.9	57.1	60.1	62.0	54.9	2.2
			学校以外の過ごし方：読書	58.5	64.5	55.0	50.5	49.2	15.3
			学校以外の過ごし方：勉強	77.5	82.5	75.5	67.6	60.7	21.8
			学校以外の過ごし方：習いごと	42.9	51.3	38.8	28.5	19.7	31.6
			学校以外の過ごし方：スポーツ少年団等	51.1	52.4	51.7	45.1	31.1	21.3
			学校以外の過ごし方：地域活動	43.4	45.0	43.1	39.1	38.5	6.5
			学校以外の過ごし方：塾	19.7	21.2	18.1	19.8	23.0	-1.8
			学校以外の過ごし方：美術館等	29.3	29.5	28.4	31.5	35.2	-5.7
			学校以外の過ごし方：手伝い	74.8	75.1	75.5	71.0	65.6	9.5
		学校以外の過ごし方：家族と	84.7	85.5	84.8	82.0	74.6	10.9	
	10		家での生活：自分で起床する	67.1	67.1	68.2	62.7	59.8	7.3
			家での生活：毎日朝食を食べる	94.4	97.1	93.9	87.1	81.1	16.0
			家での生活：定刻に就寝する	58.3	62.9	55.6	51.3	49.2	13.7
		家での生活：家族との会話	83.8	88.8	81.9	73.0	66.4	22.4	

\* 各問いの全県は肯定的な回答をした児童生徒の割合を表わし，各問いのA層～D層は，全教科の最高到達度と最低到達度を均等に4段階のポイントに分け，上位から順にA層～D層とした各問いの肯定的な回答をした児童生徒の割合を表わしている。

\* A層-D層のポイントが大きいほど，学力と関連がある。

#### 生活に関する分析

月に4冊以上の本を読んでいる児童は65.9%

ひと月に4冊以上の本を読む児童の割合は65.9%で平成16年度の61.3%に比べ，4.6ポイント増えている。A層とD層の差は35.2ポイントもあることから，学力との関連はかなり深い。学校での読書活動の成果であり，今後は，読書の量だけでなく読書の内容の充実を図っていく必要がある。

「家庭で家族と話をする」は学力との関連がある

家庭での生活について，「毎日朝食を食べる」は94.4%と最も高く，平成18年度と同じ内容の全国の肯定的回答の91.4%より3.0ポイント高い。A層とD層の差については，「家族でいろいろな話をする」の22.4ポイントが最も高く，学力との関連も深い。学習時間の確保等はもちろんのこと，「家族でいろいろな話をする」など家庭生活の充実が重要である。

## 2 中学校

## 授業に関する集計

	問題		出題内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)					A層-D層
	大	中		全県	A層	B層	C層	D層	
学校の授業に関すること	1		好きな授業：国語	64.8	67.3	65.1	58.3	55.6	11.7
			好きな授業：社会	65.7	75.0	61.1	54.1	54.1	20.9
			好きな授業：数学	58.5	69.5	55.1	40.3	41.5	28.0
			好きな授業：理科	71.8	78.3	68.3	64.1	66.8	11.5
			好きな授業：音楽	69.5	69.8	69.6	69.5	64.9	4.9
			好きな授業：美術	68.5	67.5	69.5	69.7	61.5	6.0
			好きな授業：技術・家庭	75.9	75.3	77.5	74.8	62.4	12.9
			好きな授業：保健体育	81.4	78.9	84.4	81.8	73.7	5.2
			好きな授業：英語	62.1	75.7	57.4	41.3	33.2	42.5
			好きな授業：総合的な学習の時間	77.6	77.5	78.6	76.7	63.9	13.6
			好きな授業：道徳	60.5	58.6	61.6	62.5	59.5	-0.9
			好きな授業：学級活動	82.1	82.9	83.5	78.1	67.3	15.6
	2		わかる授業：国語	85.7	91.1	84.8	75.7	66.8	24.3
			わかる授業：社会	75.1	84.5	71.6	60.7	61.5	23.0
			わかる授業：数学	74.3	86.4	70.9	53.5	50.7	35.7
			わかる授業：理科	80.2	87.5	77.4	69.4	67.3	20.2
			わかる授業：音楽	78.2	79.3	78.1	76.6	69.3	10.0
			わかる授業：美術	81.7	81.3	82.5	81.4	75.6	5.7
			わかる授業：技術・家庭	82.0	83.2	82.3	79.5	67.8	15.4
			わかる授業：保健体育	88.8	88.2	90.4	87.7	78.5	9.7
			わかる授業：英語	66.6	82.4	60.9	43.1	33.7	48.7
			わかる授業：総合的な学習の時間	87.9	90.4	88.0	83.4	68.3	22.1
			わかる授業：道徳	85.5	87.2	85.6	83.2	67.8	19.4
			わかる授業：学級活動	91.4	93.2	92.3	86.4	71.7	21.5
	3		わかりやすい授業：一人教師	87.1	93.7	84.9	76.6	74.1	19.6
			わかりやすい授業：複数教師	88.1	91.0	87.9	82.6	69.8	21.2
			わかりやすい授業：少人数	93.4	95.9	93.5	88.6	77.6	18.3
			わかりやすい授業：コンピュータ利用	83.4	86.1	83.2	78.7	65.4	20.7
			わかりやすい授業：ALTゲストティーチャー	78.6	82.2	79.1	70.5	58.5	23.7

\* 各問いの全県は肯定的な回答をした児童生徒の割合を表わし、各問いのA層～D層は、全教科の最高到達度と最低到達度を均等に4段階のポイントに分け、上位から順にA層～D層とした各問いの肯定的な回答をした児童生徒の割合を表わしている。

\* A層～D層のポイントが大きいくほど、学力と関連がある。

## 授業に関する分析

生徒の93.4%は少人数授業をわかりやすいと考えている

わかりやすい授業として、学級がいくつかに分かれて先生がそれぞれについて教える授業形態をあげている生徒が最も多く、複数教師の授業や一人教師の授業に比べ約5,6ポイント高い。また、A層とD

層の差は、複数教師の授業が 21.2 ポイントと高いが、下位ほど肯定的回答の割合が高いのは、少人数の授業である。複数教師の授業や少人数の授業の工夫が重要である。

#### 学習に関する集計

	問題		出題内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合 (%)					A層-D層
	大	中		全県	A層	B層	C層	D層	
学習に関すること	4		わからないとき：自力解決	83.3	91.2	81.6	69.4	59.0	32.2
			わからないとき：友達に聞く	66.7	64.1	71.4	63.4	51.2	12.9
			わからないとき：家族に聞く	64.2	68.1	63.5	57.3	48.8	19.3
			わからないとき：教師に聞く	32.6	35.7	30.9	29.2	27.3	8.4
			わからないとき：塾・家庭教師に聞く	25.3	27.2	24.7	23.1	16.6	10.6
			わからないとき：放置	29.2	18.5	32.8	46.7	44.4	-25.9
	5		家庭学習のようす：予習	41.4	41.1	41.0	42.8	42.4	-1.3
			家庭学習のようす：復習	85.8	90.4	86.6	75.0	61.5	28.9
			家庭学習のようす：宿題	93.8	97.6	94.5	85.5	66.8	30.8
			家庭学習のようす：進んで学習	69.9	74.8	70.0	59.5	45.9	28.9
			家庭学習のようす：興味のあること	75.0	78.4	75.2	67.3	60.0	18.4
	6		家庭学習：平日の学習時間	33.3	36.8	32.7	27.1	20.0	16.8
			家庭学習：土日の学習時間	52.2	58.1	51.8	41.0	25.4	32.7
	7		塾・家庭教師：週の日数	2.8	2.9	2.4	2.8	5.9	-3.0
			塾・家庭教師：平日の時間	22.4	27.4	20.6	15.1	9.8	17.6
			塾・家庭教師：土日の時間	7.0	8.3	6.3	5.5	6.3	2.0

\* 各問いの全県は肯定的な回答をした児童生徒の割合を表わし、各問いのA層～D層は、全教科の最高到達度と最低到達度を均等に4段階のポイントに分け、上位から順にA層～D層とした各問いの肯定的な回答をした児童生徒の割合を表わしている。

\* A層～D層のポイントが大きいくほど、学力と関連がある。

#### 学習に関する分析

生徒はわからないことを自分で解決しようとしている

わからないことの解決方法として「自分一人でやってみる」が83.3%と最も多く、次に「友達に聞く」の66.7%が多い。A層とD層の差は、「友達に聞く」が12.9ポイントで「自分一人でやってみる」の32.2ポイント比べて低い。小学校に比べて「教師に聞く」が6.5ポイントで低い。学力との関連を考えると、まず、自力で解決させ、その上で友達、教師へ相談する姿勢を育成することが重要である。

生徒の93.8%は「家では宿題を中心に学習」している

家庭学習のようすとして「出された宿題をする」が93.8%と最も多く、次に「授業で習ったことを復習する」が85.8%で多い。A層とD層の差は、「出された宿題をする」が30.8ポイントで「授業で習ったことを復習する」の28.9ポイント比べて高い。学力との関連を考えると、宿題の出し方の工夫が重要である。

平日の家庭学習の時間は66.7%の生徒が1時間30分以下

平日の家庭学習の時間を2時間以上と答えた生徒の割合は33.3%であった。平日の家庭学習の時間が2時間に満たない生徒が約6.6割となる。この約6.6割の生徒の中には、「ほとんどない」「30分ぐらい」「1時間ぐらい」を含んでいることから考えると、十分な家庭学習の時間が確保されているとは言えない。また、A層とD層の差が16.8ポイントあることや平日以外の家庭学習の時間のA層とD層の差が32.7

ポイントあることから、学力との関連はかなり深い。平日だけでなく、休みの日の家庭学習時間の確保と習慣化が課題である。

生活に関する集計

	問題		出題内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)					A層-D層
	大	中		全県	A層	B層	C層	D層	
生活に関すること	8		読書：月の冊数	26.4	29.9	24.5	22.6	18.5	11.4
	9		学校以外の過ごし方：外で遊ぶ	74.9	68.5	79.0	80.2	83.9	-15.4
			学校以外の過ごし方：テレビ・漫画	88.2	90.3	87.7	85.4	79.0	11.3
			学校以外の過ごし方：テレビゲーム等	64.2	68.0	62.0	59.6	64.9	3.1
			学校以外の過ごし方：読書	48.6	53.7	45.1	44.3	43.9	9.8
			学校以外の過ごし方：勉強	56.4	63.1	54.6	45.4	39.0	24.1
			学校以外の過ごし方：習いごと	20.4	25.5	18.3	12.9	14.6	10.9
			学校以外の過ごし方：スポーツ少年団等	48.0	47.0	50.9	44.6	33.7	13.3
			学校以外の過ごし方：地域活動	16.0	14.5	17.0	17.4	17.1	-2.6
			学校以外の過ごし方：塾	22.7	26.3	20.8	18.7	15.6	10.7
			学校以外の過ごし方：美術館等	11.0	11.5	9.6	12.3	17.6	-6.1
			学校以外の過ごし方：手伝い	57.1	55.5	57.3	60.3	59.5	-4.0
		学校以外の過ごし方：家族と	72.0	73.8	71.4	69.3	69.3	4.5	
	10		家での生活：自分で起床する	68.9	69.4	69.3	66.8	66.3	3.1
			家での生活：毎日朝食を食べる	93.5	97.1	93.3	86.2	79.0	18.1
			家での生活：定刻に就寝する	47.0	51.9	45.7	37.8	41.5	10.4
		家での生活：家族との会話	77.5	82.2	76.6	68.9	65.4	16.8	

\* 各問いの全県は肯定的な回答をした児童生徒の割合を表わし、各問いのA層～D層は、全教科の最高到達度と最低到達度を均等に4段階のポイントに分け、上位から順にA層～D層とした各問いの肯定的な回答をした児童生徒の割合を表わしている。

\* A層-D層のポイントが大きいくほど、学力と関連がある。

生活に関する分析

月に4冊以上の本を読んでいる生徒は26.4%

ひと月に4冊以上の本を読む生徒の割合は26.4%で平成16年度の13.8%に比べ、12.6ポイントも増えている。学校での読書活動の成果であり、今後は、読書の量だけでなく読書の内容の充実を図っていく必要がある。

「家庭で家族と話をする」は学力との関連がある

家庭での生活について、「毎日朝食を食べる」は93.5%と最も高く、平成18年度と同じ内容の全国の肯定的回答の89.7%より3.8ポイント高い。A層とD層の差については、「毎日朝食を食べる」の18.1ポイントが最も高く、学力との関連も強い。学習時間の確保等はもちろんのこと、「毎日朝食を食べる」など基本的な生活習慣の確立が重要である。